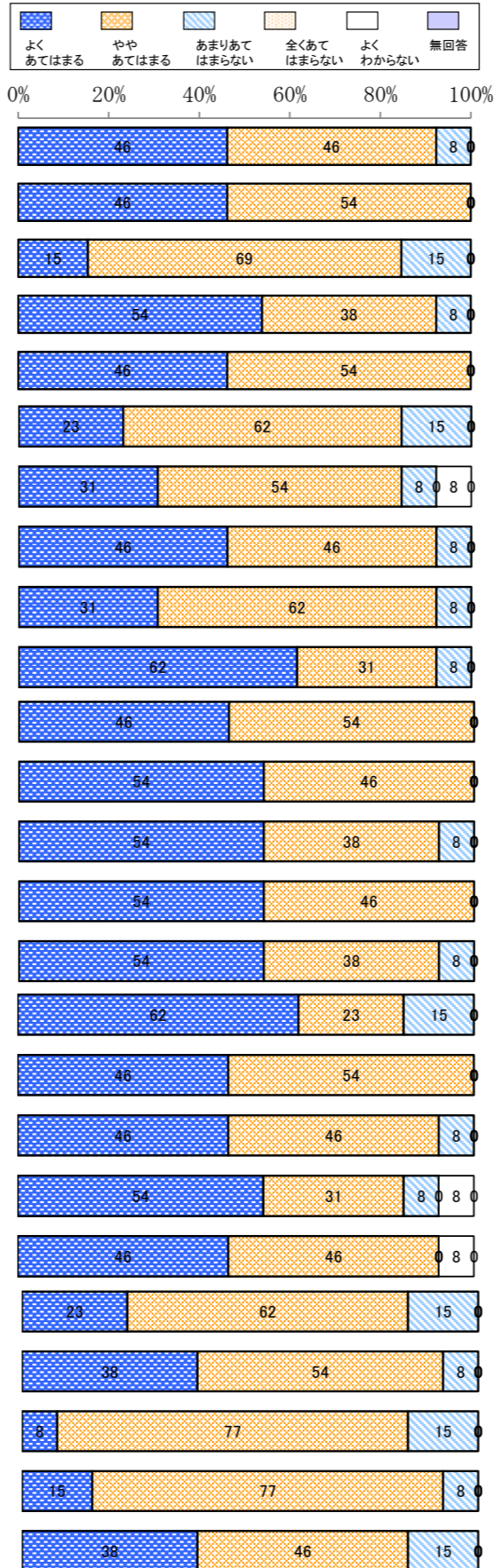


| | | アンケートの結果 | | 上段：児童 下段：保護者等 グラフ：教職員 | | | | |
|------------|----------------|----------|----------|-----------------------|--------|---------|--------|--|
| | | A | B | C | D | よくわからない | 無答 | |
| 学校全体の様子 | 1 教育目標・方針 | 41 38 | 42 56 | 11 4 | 2 1 | 5 1 | 0 0 | |
| | 2 児童・生徒の様子 | 66 51 | 25 46 | 4 1 | 2 0 | 3 2 | 0 0 | |
| | 3 基本的生活習慣 | 43 34 | 48 57 | 8 8 | 0 1 | 1 1 | 0 0 | |
| | 4 児童・生徒理解 | 43 52 | 46 43 | 9 1 | 1 0 | 1 4 | 0 0 | |
| | 5 健康・安全・安心 | 56 50 | 34 46 | 7 1 | 1 0 | 2 2 | 0 0 | |
| 学力向上の取組 | 6 分かる授業 | 54 44 | 36 49 | 8 2 | 1 0 | 1 5 | 0 0 | |
| | 7 個に応じた指導 | 60 42 | 34 43 | 3 2 | 2 2 | 1 11 | 0 0 | |
| | 8 学習習慣 | 53 45 | 30 48 | 11 1 | 5 0 | 1 6 | 0 0 | |
| | 9 情報教育 | 47 50 | 43 34 | 9 7 | 0 1 | 1 8 | 0 0 | |
| | 10 学校図書館の活用 | 43 47 | 43 42 | 11 7 | 2 0 | 2 4 | 0 0 | |
| 社会性・人間性の育成 | 11 人権教育 | 58 40 | 37 43 | 2 5 | 0 0 | 2 11 | 0 0 | |
| | 12 道徳教育 | 44 43 | 44 41 | 8 4 | 1 0 | 3 11 | 0 0 | |
| | 13 教育相談 | 51 35 | 33 37 | 7 8 | 4 1 | 5 20 | 0 0 | |
| | 14 人間関係づくり | 71 68 | 21 31 | 4 1 | 1 0 | 2 0 | 0 0 | |
| | 15 自治的な活動 | 49 53 | 42 43 | 7 2 | 1 0 | 1 1 | 0 0 | |
| 保護者・地域との連携 | 16 情報発信 | 42 46 | 29 45 | 9 4 | 5 0 | 15 4 | 0 0 | |
| | 17 相談への対応 | 58 46 | 34 43 | 5 6 | 1 0 | 2 4 | 0 0 | |
| | 18 学校への参加 | 61 58 | 25 38 | 8 4 | 5 0 | 2 0 | 0 0 | |
| | 19 地域との連携 | 40 39 | 34 42 | 17 2 | 5 1 | 5 16 | 0 0 | |
| | 20 意見の反映 | 47 33 | 35 45 | 8 1 | 1 0 | 9 21 | 0 0 | |
| 各学校の特色ある教育 | 21 主体的に学ぶ態度 | 43 25 | 44 50 | 8 15 | 1 2 | 4 7 | 0 0 | |
| | 22 調べ学習の充実 | 31 33 | 33 43 | 25 16 | 8 1 | 4 6 | 0 0 | |
| | 23 聞く態度 | 50 24 | 39 58 | 9 12 | 1 2 | 1 4 | 0 0 | |
| | 24 誰とでも協力できる心情 | 44 32 | 42 57 | 10 7 | 2 1 | 2 4 | 0 0 | |
| | 25 前向きに生活する態度 | 44 27 | 37 52 | 15 16 | 1 2 | 2 2 | 0 0 | |



無効票を除く (%)

無効票を除く (%)

学校の自己評価 (考察) ※令和6年度の数値と比較しました。

児童(82.2%→83.0%)、保護者(92.7%→93.4%)ともに肯定的評価が高水準で安定しており、微増しました。教職員も9割以上を維持しています。学校行事での児童の生き生きとした様子などから、教育目標が学校全体に共有されていることが概ねできています。

保護者の肯定的評価が94.9%から96.3%へ上昇しました。児童の評価は92.5%から90.7%へわずかに下がりましたが、依然として9割を超えています。子どもたちが明るく楽しい学校生活を送ることができています。

児童(88.6%→90.7%)の自己評価が向上しました。保護者は約91%で安定しています。一方、教職員の評価は100%から84.6%へ低下しました。教職員の児童に対する挨拶や基本的生活習慣などをよりよくしようとする課題意識が反映されたと考えられます。

児童(84.2%→88.9%)、保護者(84.1%→94.8%)ともに評価が大きく向上しました。特に保護者の信頼感の高まりが顕著です。教職員は92.3%と高水準ですが、前年比ではやや低下しました。家庭や児童へのきめ細かな対応が成果を上げていると考えられます。

保護者の評価が95.6%から96.3%へ上昇し、高い安心感が維持されています。児童も90%台をキープしています。教職員は2年連続で100%の肯定的評価でした。防災教育や安全対策への取り組みが、学校全体でしっかりと定着していることが分かります。

保護者の評価が84.1%から92.6%へと大幅に向上しました。児童は90%台を維持しています。教職員の評価は100%から84.6%に低下しており、授業改善への課題意識や、より高い質の授業を目指す姿勢の表れとも推察されます。

児童の評価が91.7%から94.1%へ、保護者も81.9%から84.5%へと上昇しました。習熟度別学習などの成果が児童の実感として現れていると考えられます。教職員の評価(84.6%)は前年より下っており、個々のニーズに対応した指導が必要と意識していることが推察される。

保護者の評価が85.5%から92.7%へ大きく伸びました。一方、児童は86.7%から83.6%へ微減、教職員も100%から92.4%へ低下しました。家庭学習の定着について保護者は評価していますが、引き続き家庭学習の定着に努めていく。

全体で評価が向上しました。特に保護者は71.1%から83.8%へ、教職員も85.7%から92.3%へと大幅増です。児童も90.7%と高く、タブレット端末等のICT機器を活用した教育活動が軌道に乗り、その効果が広く実感されていると考えられます。

保護者の評価が81.9%から89.0%へ上昇しました。児童(90.5%→86.0%)と教職員(100%→92.3%)はやや低下しましたが高い水準です。読書活動の推進が保護者にも認知されていますが、児童の図書館の活用意欲をさらに高めていきたい。

児童(95.0%→95.9%)、保護者(76.9%→83.8%)ともに評価が向上しました。教職員も100%を維持しており、引き続き他を大切にすることの育成が学校全体で着実に進めていく。

児童(80.4%→88.3%)、保護者(80.4%→84.6%)ともに肯定的評価が上昇しました。教職員は2年連続で100%です。道徳の授業や体験活動を通して、思いやりの心や規範意識を育む教育活動に引き続き取り組んでいく。

児童の評価が71.6%から84.2%へと飛躍的に向上しました。居場所作りや相談体制の充実が、児童の安心感に直結していると考えられます。保護者(71.4%)も微増傾向にあります。教職員(92.3%)の意識も高く、相談しやすい環境作りが成果を上げています。

保護者の評価が95.7%から99.3%と極めて高い水準に達しました。児童も92.4%と高く安定しています。学校行事や体験活動を通じて、良好な人間関係が築かれていると保護者や児童が実感できていることが推察されます。

保護者の評価が88.4%から96.3%へ、教職員も85.7%から92.3%へ向上しました。児童(90.6%)も高評価を維持しています。児童会や学級活動などで、児童が主体的に活動できる場面が増え、その姿が保護者や教職員に肯定的に受け止められています。

保護者の評価が81.9%から91.2%へと約10ポイント上昇しました。学校便りやスクリーン、HP等による発信の工夫が奏功しています。一方、児童(71.3%)と教職員(84.6%)は低下しました。今後は、情報の発信内容が十分に伝わる仕組みを整え、学校全体での情報共有の質を向上させます。

児童(89.2%→91.8%)、保護者(84.8%→89.7%)の評価が向上し、教職員は2年連続で100%を維持しています。教育相談体制が有効に機能しており、悩みなどへの真摯な対応が信頼と安心感の深化につながることができていると考えられる。

保護者の評価(95.6%→96.3%)が高い水準で安定し、児童は81.6%から85.4%へ上昇しました。教職員は100%から92.4%へ低下しましたが、保護者や地域の方にとって「参加しやすい」環境が整っています。公開授業や行事の工夫が、この評価につながっていることが分かります。

保護者の評価(72.4%→80.9%)が大きく向上しました。児童も72.8%から73.7%へ微増しています。教職員は92.8%から84.6%へ低下しました。教職員の地域行事への協力が保護者から肯定的に受け止められています。

保護者の評価(73.9%→92.3%)が大きく向上しました。児童は約80%で安定しています。教職員は100%から92.4%へ低下しました。教育活動の改善などにおいて、保護者の意見を受け止める姿勢が浸透し、その対応への満足度が大幅に高まったと思われる。

保護者の評価(68.1%→75.0%)が改善し、家庭でも子供の成長を感じ取れています。児童は89.2%から87.1%へ微減ですが高水準です。教職員は100%から84.6%へ低下しており、児童の主体的な学びの姿をより厳格に捉えるようになった教職員の意識の変化などが分かります。

保護者(70.3%→76.5%)・教職員(92%維持)の評価は向上・維持しましたが、児童の自己評価(71.5%→63.7%)は低下しました。児童が探究できる授業への改善に努めていきます。

保護者の評価(79.7%→82.4%)が上昇しました。児童も約89%と高水準を維持しています。教職員は100%から84.6%へ低下しました。児童の『深く最後まで聴く力』を指導方法の改善に努めていきます。

児童(86.1%→86.5%)、保護者(87.7%→88.2%)ともに安定した高評価を維持しています。教職員は100%から92.3%へ低下しましたが、高い数値です。相手の気持ちを考える指導が定着しており、良好な人間関係の中で児童が学校生活が送れていることが分かります。

保護者の評価(75.4%→79.4%)が向上しました。児童は88.6%から81.2%、教職員も92.8%から84.7%へと低下しました。失敗を恐れず挑戦する気持ちを大切に、自己肯定感を育む指導に継続して取り組んでいきます。